



DESIGNED BY EIJI MITOOKA + DON DESIGN ASSOCIATES

和歌山県 わかやまであつ

和歌山電鐵

三毛猫の駅長たま人気は健在！ 楽しい電車も走る心穏やかな鉄道

和歌山駅の片隅から発車してゆく小さな電車。和歌山電鐵の旅は、その始発駅を訪れたときからなぜか心が和む。三毛猫駅長たまの愛らしい姿で話題になり、駅ネコブームの火付け役に。水戸岡鋭治氏デザインの「いちご電車」

や「たま電車」などユニークな車両も運行してきた。貴志駅まで14.3km。和歌山市街を抜けると田園風景を東進、鶏冠山の峠を越えて貴志川の畔を目指す旅は変化に富む、乗って楽しい路線である。

営業企画課 竹添さんの イチオシ SPOT

たまミュージアム貴志駅は細部に「たま」にこだわった日本の伝統的工芸品が多く使われています。屋根裏には黒いシルエットのたまが6匹かくれんぼしているのでぜひ探してみてください！



1. 地方民鉄フォトコンテスト2022 みんなつ賞
2. たまミュージアム貴志駅 「ニタマ」がウルトラ駅長を務める貴志駅は、伝統工法・檜皮葺きを使った世界で唯一の猫型駅舎。
3. たま電車ミュージアム号 2021年12月にデビューした豪華列車は、「いまだかつてないネコ電車」がコンセプト。

イベントカレンダー

- 11月上旬 貴志川線祭り開催(予定)

